

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」高松伏石校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	支援室の場所やスペースの大きさは利用者様の特性を見て環境構成には配慮している。予定表を保護者に開示し、利用できる時間を確認できるようにしている。	利用者同士の距離が近く、コミュニケーションを取ることが容易ではあるが、周りの声や音に気を取られてしまう児童の場合にとっては厳しい環境と感ずるので、しっかりとしたパーティションがあると良い。
	②	職員の配置数は適切である	1	2	職員が以前から安定しないので、離職率を防ぐために対話の機会を多く持ち、離職率防止に尽力している。	現時点では不足していると感じないが、指導員の育成をできるような余裕がない。しかし、今後児童が増えた際にはこの通りではない。児発管との関係でもう1名必要と思われる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	個室やパーティションで区切ることによって安心して集中できる環境を整えている。	利用者向けの空間と指導員の控室に仕切りがない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	毎日の消毒はもちろん、気になる場所を清掃したり、年齢等に合わせた配置を変えたりしている。	収納用具が少なく、常に決まったところに決まったものを置けるような環境ではないので、片づけやすい収納があると良い。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	具体的な目標設定に伴う評価方法が新たに始まったためそう言える。毎日のYWTで振り返りや課題を考えている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	定期的に保護者に向けて評価表を配布してアンケートを依頼・回収している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	事業所向け自己評価表及び保護者向けの評価表をもとに支援の質や業務改善に努めており、具体的な内容を公表できている。HP上で公開している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		第三者機関等への評価依頼を実施していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	発達支援研究所の研修など定期的に研修に参加している。階層別研	

					修など、職責等に応じた研修を行っている	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	指導員や保護者のニーズ、児童の課題を常に客観視して支援計画の作成を行うことができる。保護者に対し丁寧な聞き取りを心掛けている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	定期的に標準化されたアセスメントツールを活用してアセスメントを実施している。診断書を分析している	NCプログラムを準備しているが使うことはできていない。職員間に使用方法を周知する必要がある。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	個別支援計画を作成する際に児童発達支援ガイドラインや領域を意識しながら作成を行っている。相談支援員のサービス利用計画をもとに作成している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	定期的に支援計画の確認と計画に変更がないか擦り合わせをしている。	児発管減算のため作成義務はないが、管理者が個別支援計画の仮案を作成して6か月ごとに見直しを行っている。必要があれば6か月未満での更新もしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	チームとして各々が立案し、活動プログラムを考えている。主と副の担当を定め、プログラムを立案し、相談しながらプログラムを作成している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	迷った時には話し合える環境ではある。以前の記録を読み取り、現在の状況に適したプログラムの立案を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1	2	イベント等を通して集団活動の機会を作り、保護者に参加を促している。	児童発達支援の利用者様が少なかったため個別支援計画に集団支援の視点は入っていなかったが、利用人数も多くなってきたので今後は意識的に入れることも検討する。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	毎日ではないが必要に応じて行われる。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	毎日ではないが必要に応じて行われる。	担当以外の利用者様とあまり関わっていない感じはする。担当以外の方とも関わ

					れるように職員全員が意識を持つ必要はある。	
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	担当した支援を各自記録している。	
	⑲	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	定期的なモニタリングが実施されていて計画の見直しが行うことができている。	事業所相談などで保護者の方とお話する機会を増やし6か月にこだわらずに支援計画の定期的な見直しが行えるようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	管理者・児発管が参画している。 主に管理者が、必要に応じて担当者が参画している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	相談支援事業所や関係機関との連絡を必要に応じて行い、支援に活かしている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	3	該当なし	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	3	該当なし	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	不定期ではあるが、幼稚園などと連携している。	特定の職員が担当しているので、指導員全員が広く参画できるようにしていきたい。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	必要があれば学校の担任の先生との担当者会議や、進路決定の場に参画させていただいて意見を伝えることをしている。学校職員と会議等で情報共有をしている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	定期的なモニタリングを行い、他の事業所での研修を受けている。研修等に参加している。	他事業所との勉強会など助言・研修の機会は設けられていない。ただ、外部研修という形で参加している。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	イベント等で障害のない子どもへの参加も計画している。	直近で実施した事例がないためどちらともいえない。保護者の方から必要とされている声は聞こえないので行っていない。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3		現状参加していないが、参加できる機会があれば参加

					していきたいとは考えている。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	支援が行われた後にフィードバックを行い支援内容や今後の課題について共通理解を持つことができている。 毎回の支援内容をフィードバックして、現在の子どもの様子や困りごとを聞き取っている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	2	毎回の支援内容のフィードバック時に、必要に応じて日々の関り等助言している。	日常的なフィードバックの中で可能な範囲で助言を行うが、特別な場を用意していることはない。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時には必要な説明を行っている。 契約前に不安を解消すべく丁寧に説明している。	運営規定に関しては説明できていないが、重要事項説明書の中で触れながら説明している。利用者負担に関しては契約時・見学対応時に必ず説明をしている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	支援計画作成や更新時に同意を得ている。 ガイドラインの内容を意識しながら個別支援計画を作成し、同意とサインを得ている。 担当者会議を行い、支援計画を作成し、丁寧に説明し同意のサインをいただいている。	児童発達支援ガイドラインを職員間で理解できている職員とできていない職員がいるかと思うので、共有する必要がある・
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	毎回の支援内容をフィードバックして、現在の子ども様子や困りごとを聞き取り、次回の支援に生かすようにしている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	他校舎とも連携して様々な意見交換を行うことができている。 保護者カフェを企画し、当事者同士の悩みごとの共有や子どもへのかかわり方を支援している。	保護者との交流の会の場を設定したが、1名の参加しかなかった。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	毎回の支援内容をフィードバックして、現在の子ども様子や困りごとを聞き取り、次回の支援に生かすようにしている。	

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	不定期ではあるが紙媒体の通信を作成している。活動概要や行事予定等の情報は SNS やメールを発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	日頃より個人情報の含まれるフォルダは鍵付き書庫で保管されている。鍵のかかる書庫に書類を保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	発達の特性に合った対応をしている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	招待はしていないが、イベント等は地域住民等が参加できる内容を行っている。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	緊急時対応や防犯、感染症について月1回の訓練を行っている。	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染マニュアルは作成しており、定期的に必要な更新は加えている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	定期的に訓練や訓練内容の共有を行っている。	利用者様を含めた防犯訓練が実施できていないので、早急に実施していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	保護者との面談時にヒアリングを行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	食事提供がないため該当なし。食品を提供する際、成分を確認し、参加児の保護者に確認をしている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	各校舎の指導員により集まったヒヤリハットを社内でも共有できている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	定期的に虐待防止委員会にて検討会行われている。管理者が虐待防止委員会のメンバーとなり虐待防止委員会に参加し、校舎内で検討内容を共有している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0	事前の同意を含め支援計画にも記載されている。契約時に説明しており、身体拘束を行った場合は記録を取る決まりになっている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」高松伏石校

保護者等数（児童数）：7名 回収数7名 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1	0	0	平日朝利用のためか、いつも空いているのでスペースは充分と感じます。	16時より前の時間でしたら人数が少ない時間帯も多くございます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	0	フィードバックの際に、活動の意図を分かりやすく教えて下さりありがたいです。	今後も活動の意図や目的を分かりやすく伝えることができるように努めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	0	活動内容に合わせてテーブルやパテーションの位置を上手く変えて下さっています。	事業所の大きさが限られているためその時間の活動内容やお子さんの特性で臨機応変に環境構成を考えさせていただいております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0	清潔感があり良いと思います。 (見学に行った施設によっては、保護者が座る場所がなく地べたに座ったり、何となく独特な匂いがあったり個人的に苦手な所もありましたので…)	ありがとうございます。毎日お昼の時間に掃除を行って環境美化に努めております。またおもちゃの消毒や机椅子の消毒など感染症対策にも努めております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	0	いつも困っている事がないか聞いて下さり、話しやすいです。	保護者の方のニーズをしっかりと聞き取ったうえで支援計画の作成を行っておりますので、気になったことがありましたら担当指導員か管理者までお気軽にご相談ください。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0	いつも子供が楽しみにしています。何やるのかな…と、実は親も楽しみにしています。色々工夫してくださって	温かいお言葉ありがとうございます。これからもご期待に応えられるように研鑽してまいります。

							り、本人も満足しているようです。 毎回違った遊びを用意して下さり、子供が飽きない工夫をしてくださっていると思います。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0	まだ通い始めて数ヶ月なので不明です。	個別支援計画に沿って支援を行うように職員には周知させていただいております。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	2	1	0	まだ通い始めて数ヶ月なので不明です。 つい、先に手を差し伸べてしまったり、叱ってしまう事もあるので、そういうのもあると良いなと思います。	具体的な活動ではできていなかったもので、ペアレントトレーニングの知識を職員で学ぶ機会を作ってまいりたいと考えております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	0	毎回アドバイスを頂いたり相談に乗って頂いて、とても助かっています。	ありがとうございます。お困りごとなどございましたらいつでもスタッフまでおっしゃってください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	4	0	まだ通い始めて数ヶ月なので不明です。 慣れてきたので交流の機会があれば良いなあとと思います。	現状、保護者の会などは開催できておりません。ママカフェなど保護者の方の交流会も検討してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	0	0	たくさんイベントのお知らせをしてくださり、ありがたいです。仕事の都合でなかなか参加	イベントに関しては月に1回程度開催できるように計画しております。今後も皆様に参加していただけるようなイベントを計画してま

							できず申し訳ありませんが、個人的には今くらいのペースがいいと思います (多すぎてもちょっと大変そうなので)	いますのでぜひご参加ください。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	0	1	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	0	1	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	1	0		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	0	0	先生のことが大好きなようで「明日〇〇先生ある？」とよく聞いてきて、あると答えるとすごく喜んでいきます。 毎週、きらりに行く事をととても楽しみにしています。きらりで作ったものを「みて！」と自慢げに見せてくれたり、保育園でも「きらりで〇〇してきた！」と、話しているようです。 他所と合わせて週3で行っているので、お友達と遊びたいときなどは休みたいという。	温かいお言葉ありがとうございます。園でもきらりの話をさせていただいているようで感謝しております。 お子様の負担のない範囲で楽しく通所していただけましたら幸いです。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6	1	0	0	もう片方の事業所と比べると時間も1時間違いますが、子供に合わ	温かいお言葉ありがとうございます。きらり自体が1時間の個別療育を大切にさせていた



						<p>せた手作りの教材や運動などしてくれていて物足りなさは少し感じます。親子共に初めての通所が「きらり」です。色々見学に行きましたが、対人関係が苦手な子供がいつも楽しく通所できている事が一番安心です。ここに決めて良かったと思っています。いつも子供の発達の為に色々な遊びを考えて準備して下さり、とても感謝しています。家での遊びのヒントも沢山得られるので、参考にさせていただきます。</p>	<p>だいているのと人員の関係で短時間になってしまい申し訳ございません。園から帰ってきてゆっくりしたい時間や保護者の方も忙しい中1時間のために送迎してくださっているので1時間1時間を大切にしながら引き続き支援させていただきます。</p>
--	--	--	--	--	--	---	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。